

高校修了プログラム：『よくあるご質問』

AJ 国際留学支援センター

■アメリカ・ワシントン州の学期体制■

ワシントン州のカレッジの卒業には、約90単位の履修が必要です。ワシントン州の多くが、クォーター制という「四半期制」の学期体制を取っているため、一年間は「四学期」から成り立っています。

1月から3月を「冬学期」、4月から6月を「春学期」
6月から8月を「夏学期」、9月から12月「秋学期」
と呼ばれています。

■高校修了プログラムについて■

高校修了プログラムは、**High School Completion Program** といい、アメリカのワシントン州のみで開講されているプログラムです。16歳以上で、「高校を卒業していない方」を対象としたプログラムで、カレッジ卒業と同時にワシントン州の高校卒業の資格と、留学したカレッジの卒業資格（日本でいう短大レベル・準学士号）が得られます。

■履修進度について■

学生ビザを取得して留学するため、1学期は12単位以上の履修が義務付けられています。単位制のため、1学期に25単位もの授業を履修する方もいらっしゃいますが、無理なく勉強を進めるには、1学期に15単位ずつの履修が一般的です。単位を多く履修すれば、当然それだけ早く卒業できますが、勉強についていくには大変ですので、「1学期15単位」のペースで進めることをアドバイスします。

1学期に15単位ずつ履修していくと、1年間に60単位履修できる計算になります。

「1学期15単位 × 4学期（1年間） = 60単位」

高校修了プログラム修了（カレッジ卒業）までに90単位必要なるため、残りは30単位。つまり、あと2学期間が必要となることが分かります。合計、「6学期間＝1年半」が、卒業にかかる年月になります。

一般的に、現地学生（アメリカ人）は、6月から9月までの間、長い「夏休み」を取り、「夏学期」に授業を履修することはほとんどありません。つまり、アメリカ人にとって、「1年間」は、「秋・冬・春」の「3学期間」です。

留学生の多くは夏学期も授業を履修しますので、留学生にとって、1年間は「4学期間」となります。もちろん、アメリカ人でも夏学期を履修する人もいますし、日本人留学生の中には6月から9月まで、日本に帰国する人もいます。2年間かけて「6学期間」の勉強をするのか、1年半で「6学期間」を終わらせるのかはすべて自分次第です。

■基礎学力の重要性について■

ここで問題になってくるのが、「いつからカレッジの授業を履修できるのか」になります。英語力や基礎学力がないと、当然カレッジの授業を履修はできません。留学までに、英語力と数学力など、きちんと基礎学力をつける必要があります。AJ国際留学支援センターでは、この「基礎学力定着」に重点を置いています。出発までに無料で授業を開講しているのも、そのためです。

日本にいる時に、きちんと勉強し、英語力も高められた方は、留学後、1年半で卒業しています。しかし、多くの方が、カレッジの授業を受ける前に、半年から1年、同カレッジが提供する英語クラスや中学・高校レベルの数学の授業を履修しています。これらの授業は「カレッジ卒業の単位」には加算されないため、卒業がどんどん遅れることとなります。カレッジの授業を受けるのに、仮に1年、このような補講を受けるとしたら、卒業までに2年半必要になります。

卒業を早めるために、出来るだけ英語力を上げ、基礎学力を定着させておく必要があります。

■卒業の進路について■

「大学編入を目的とした」プログラムで留学した方は、大学3年次に編入できます。カレッジ卒業後は、4年制大学の3年次に編入することができます。ワシントン州のみならず、全米の大学へ編入が可能です（有名校やハイレベルな大学は諸条件あり）。日本の大学の3年次に編入した方もいます。カレッジ入学の目的を、たとえば「お菓子作り職人になりたい」「音楽だけを勉強したい」など、ある分野に特化し、他の一般教養科目を履修しな

かった場合は、大学3年次には編入できず、1年生からの入学になってしまいます。仮に音楽が好きなのであれば、一般教養科目も履修しつつ、音楽を勉強していきましょう。

■留学費用について■

「シアトルセントラルカレッジ」という学校を例にとります。
この学校はシアトルのダウンタウンにある、都会の学校です。

英語力が足りず、カレッジの授業がはじまる「前」に、英語の補講のみを履修する場合の授業料と滞在費、交通費、教科書代、お小遣いなどの平均が、「1学期」で6302.37ドル(2016年秋以降の新料金)、日本円で約693000円です(1ドル110円計算 2月11日現在)。

この補講を、仮に1年間(4学期間)履修するとすると、約277万円

英語をきちんと勉強していけば、節約できる費用と時間です。この時間を出来るだけ短くするために、今のうちにきちんと勉強することが必要です。

カレッジの授業がはじまる、仮に15単位ずつ履修していくことを想定すると、授業料と滞在費、交通費、教科書代、お小遣いなどの平均が、「1学期」で6730.37.00ドル、日本円で約745000円です(1ドル110円計算 2月11日現在)。カレッジの授業がはじまって、1年半(6学期)、卒業までに必要ですので、745000円×6学期(1年半)＝約444万円が必要になる計算となります。

上記費用は、都会の学校のため、若干高めです。

ここ(シアトルセントラルカレッジ)から約1時間南の下った「ピアスカレッジ」という学校は、英語の補講のみを履修する場合の授業料と滞在費、交通費、教科書代、お小遣いなどの平均が、「1学期」で5820ドル(2016年秋以降の新料金)、日本円で約640000円です(1ドル110円計算 2月11日現在)。

この補講を、仮に1年間(4学期間)履修するとすると、約256万円

カレッジの授業がはじまる、仮に15単位ずつ履修していくことを想定すると、授業料と滞在費、交通費、教科書代、お小遣いなどの平均が、「1学期」で6288ドル、日本円で約691000円です(1ドル110円計算 2月11日現在)。カレッジの授業がはじまって、1年半(6学期)、卒業までに必要ですので、691000円×6学期(1年半)＝約414万円が必要になる計算となります。

以上